

令和2年5月25日

農大二高の感染防止対策

学校としての考え方

- ・コロナ感染防止は、生徒の命だけでなくその周りの方々の命に関わる重大な問題であるという意識を全教職員が共有する。
- ・学校として、「学びの保障」と「生徒の安全」の両立に最大限努力する。
- ・感染者や濃厚接触者に対して、あるいは居住地域に対しての差別や偏見が生まれないよう指導する。
- ・行動自粛などの影響による生徒の心のケアを十分に行う。

【健康管理】

- ・生徒・教職員は登校前・朝のHR・昼食前・帰宅後に検温を行い、発熱や風邪の症状がある場合は登校（出勤）を控える。体温は学校で配布する「健康観察票」に生徒自身が記録し、常に携帯する。
- ・全生徒に「発熱チェッカー」を配布し、校内での検温を実施する。発熱チェッカーで37度以上の生徒は保健室で正確な体温を測定する。
- ・校内で生徒に発熱などの体調不良が認められた場合は、原則として保護者付き添いのものと直ちに帰宅する。
- ・校内で発熱などの体調不良を申し出た生徒は、家庭と連絡を取った後に帰宅準備が整う間、体育館会議室などの控え室で待機する。

【衛生管理】

- ・生徒・教職員は必ずマスクを着用する。
- ・放課後、教職員は教室やトイレ・階段など生徒が使用した施設を「消毒マニュアル」を参考にしてアルコール消毒を行う。
- ・手洗いや手指の消毒を徹底する。
- ・手指消毒用の消毒液はすべてのトイレ・教室に配備する。

【HR・授業】

- ・HRや授業では教員は必ずマスクならびにフェイスシールドを着用する。
- ・生徒に対して至近距離（顔を近づけて）の指導は行わない。
- ・分散登校時の机の配置は隣との距離を最大限に広げ、座席位置を予め決めておく。
- ・授業中は窓やドアを開放し、常に換気を行う。
- ・体育や音楽などでは実技の授業を行わず、座学とする。

【その他、休み時間・下校時間など】

- ・昼食は昼休みの時間帯のみとし、教員の付き添い指導のもと、会話をせず自席にて行う。
- ・部室や委員会の部屋への立ち入りを禁止する。
- ・生徒の密の状況を回避するため、休み時間は教員が見回りを行う。
- ・完全下校時刻（最終の生徒が校門を出る時間）を16時とする。